

## 放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

## 概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、分かりやすい情報を提供しています。
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

## これまでの活動状況

1月31日時点

項目		2021年度 1月分	2021年度 累計
<b>■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター</b>		(単位：回)	
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	2	12
	専門家派遣	0	8
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	20	112
	車座意見交換会	2	25
<b>■環境再生プラザ</b>		(単位：回)	
・専門家派遣	自治体など	1	30
	小中学校など	0	34
	その他	0	9
・移動展示		0 (0日)	42 (45日)
<b>■その他</b>		(WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)	
・内部被ばく検査 (WBC)の支援		3	60
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援		8	89

## 今月の放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況

### (放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター実施分)

- ◆ 研修会
  - ・ 1/12 双葉町 (2回)
- ◆ 住民セミナー
  - ・ 1/7 会津大学短期大学部食物栄養学科 (2学年)
  - ・ 1/13 南相馬市立原町第二中学校 (1~3学年、全8回)
  - ・ 1/16 葛尾村
  - ・ 1/25-26 白河市立みさか小学校 (1~5学年、全10回)
- ◆ 車座意見交換会
  - ・ 1/17 楡葉町
  - ・ 1/22-23 須賀川市



「放射線の基礎知識と健康影響」について  
講義する自然科学研究機構の佐瀬卓也氏  
(1/7・会津短大)



「食品に関するリスクコミュニケーション」  
について講義する消費者庁の柿谷康仁氏  
(1/7・会津短大)

### (環境再生プラザ実施分)

- ◆ 専門家派遣  
〈自治体など〉 ・ 1/25 鏡石町健康環境課

\* 環境再生プラザでは、小学校低学年向け紙芝居『ふくろう先生のなにがおきたの？大しんさい』を新たに作成しました。環境再生プラザHPに掲載している紙芝居はダウンロードできます。

<http://josen.env.go.jp/plaza/>

震災から11年近くが経過し、子どもたちは震災や原発事故を知らない世代となっています。この紙芝居では、放射線学習の前段となる東日本大震災と原子力発電所の事故について、わかりやすく説明しています。



教師が自身の経験談も交えながら紙芝居を上演。  
震災当時、福島で何が起きたのかを熱心に聞く児童たち  
(12/9・福島第四小学校)